

岡山大学構内遺跡調査研究年報5

1987年度

1988年 10月

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

岡山大学構内遺跡調査研究年報5

1987年度

1988年 10月

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

序

岡山大学埋蔵文化財調査室は、1987年11月26日をもって同埋蔵文化財調査研究センターに発展的に改組され、学則による大学の正規の機関となった。それに伴い、調査員も増加し、センター事務所も年度末には完成し、体制はようやく整ってきた。ここにおいて、これまでの調査に追われていた状態から脱し、本来の文化財保護の精神に立ちかえって諸般を検討し直すことが必要であろう。また、研究活動が発掘調査にいかに関与するかが重要であることは明白であり、研究と調査技術の両輪がうまく噛み合うことによって発掘調査は円滑かつ高度な成果を得ることができると思う。したがって、研究機関としての発展を目指していくことがセンターのこれからの任務と言えよう。

最後に、センター設立に当たっては岡山大学長をはじめ岡山大学施設設定委員会・埋蔵文化財保護対策検討委員会・事務局、並びに本学関係各位に多大な指導と協力を得た。今後も、一層の理解と援助をお願いする次第である。

1988年10月

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター長

近藤義郎

例 言

- 1 本年報は岡山大学埋蔵文化財調査研究センター（旧岡山大学埋蔵文化財調査室）が岡山大学構内において1987年4月1日から1988年3月31日までに実施した埋蔵文化財の調査と保存、および活動成果をまとめたものである。
- 2 岡山大学構内の埋蔵文化財の調査に際しては、国土座標を測量などの基準としているが、岡山大学津島地区と同鹿田地区ではその設置基準を次のように定めた。
 - 1) 岡山大学津島地区では、国土座標第5座標系（ $X = -144,500$, $Y = -37,000$ ）を起点とし、真北を基軸とした構内座標を設置した。一辺50mの方形地区割であり、それによって遺跡の位置を表示した。また、津島キャンパスは調査の便宜上、大きく津島北地区と同南地区に二分する（図版1）。
 - 2) 岡山大学鹿田地区では、国土座標第5座標系（ $X = -149,800$, $Y = -37,400$ ）を起点とし、座標軸を $N15^{\circ}E$ に振ったものを基軸とした構内座標を設置した。地区割は一辺5mの方形を用い、調査に対応した（図版4）。
 - 3) 本文中で用いる方位は津島地区では磁北を、鹿田地区では真北を使用している。
- 3 岡山大学構内及び関連施設内の遺跡の名称は、農学部演習林内に分布する古墳群等の周知の遺跡の場合はそのまま踏襲する。津島地区構内で新たに発見された遺跡は、遺存する小字名を用いるか、岡山大学津島地区遺跡群と仮称し、地点ごとに任意の記号を用いて示す。また、鹿田地区においては全域において、これまで称されてきた「鹿田遺跡」を用いる。
- 4 表に記載した所属部は、原則として各学部の頭文字を略号として用い、医学部附属病院等については医病という形で略した。
- 5 本文・目次・挿図・図版等で使用の調査番号は表1の番号と一致する。
- 6 遺物観察表の胎土表記は微砂：0.5mm以下、細砂：0.5～1.0mm、粗砂：1.0～2.0mm、細礫：2.0mm以上を指す。
- 7 遺構の実測は石坂俊郎・竹内浩一・中塚孝信・八谷隆生・福田真久・前原伸也・松岡かおり・山本悦世が行った。遺構の浄写は石坂・藤原千鶴・松岡・山本が、遺物の実測・浄写は石坂・高橋進一・竹内・藤原・安井宣也・山本が、遺物の写真撮影は入倉徳裕が各々担当した。
- 8 本文は第2章2～5を石坂・松岡・山本が分担して執筆し、それ以外は山本が担当した。執筆者名は末尾に記した。
- 9 本年報に掲載の津島地区の地形図は岡山市発行の1/2500の地形図を複製したものである。
- 10 編集は近藤義郎の指導のもとに藤原の協力を得て山本が当たった。

岡山大学構内遺跡調査研究年報 5 1987年度

目 次

第1章	岡山大学構内埋蔵文化財保護対策要項	1
1	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター設置に至る経過	1
2	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規程	2
3	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター管理委員会規程	3
4	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会規程	5
5	岡山大学施設設定委員会埋蔵文化財保護対策検討専門委員会規程	6
6	岡山大学埋蔵文化財調査室設置要項	8
7	岡山大学施設設定委員会埋蔵文化財保護対策検討専門委員会規程廃止の規程	8
第2章	1987年度岡山大学構内遺跡調査報告	10
1	調査の概要	10
2	発掘調査	13
	① 学生部男子学生寮改築に伴う発掘調査	13
	② 医学部附属病院管理棟改築に伴う発掘調査	20
	③ 医療技術短期大学部新営工事に伴う配管部分の発掘調査	24
3	試掘調査	27
	① 外国人宿舎建設予定地	27
	② 情報処理センター増築予定地	30
	③ 身体障害者用エレベーター設置予定地	31
4	立会調査	36
	(1) 津島地区	36
	(2) 鹿田地区	37
5	分布調査	38
第3章	1987年度普及・研究・資料整理活動	40
1	資料整理	40
2	刊行物	40
3	調査員の活動	40
4	日誌抄	41

5	遺物収蔵量及び保管施設	43
第4章	1987年度構内遺跡の調査及び活動のまとめ	45
附表		46
附編	瀬戸内技法小考	51

— 一接合資料から類推される作業面の補正技術について —

挿 図 目 次

図1	調査区土層断面概略図	14
図2	遺構全体図および11層上面地形図	15
図3	13層出土縄文土器	16
図4	17～19層出土縄文土器	17
図5	調査区土層柱状図	21
図6	遺構全体図	22
図7	井戸1・出土遺物	23
図8	調査区配置図	24
図9	調査区土層断面図	25
図10	出土遺物	26
図11	試掘坑配置図	27
図12	試掘坑土層断面図	27
図13	T P 1 遺構平面図	28
図14	出土遺物	29
図15	調査地点図・土層柱状図	30
図16	調査地点図・土層柱状図	31
図17	遺構検出状況	32
図18	調査地点図	33
図19	調査区土層断面図	33

図20	遺構平面図・遺構覆土断面図	34
図21	出土遺物	35
図22	立会調査⑱土層柱状図	36
図23	立会調査㉑出土遺物	37
図24	本島位置図	38
図25	本島団地全体図	38
図26	本島遺跡分布図	39
図27	本島遺跡分布調査採集遺物	39

表 目 次

表 1	1987年度調査一覧	10
表 2	埋蔵文化財調査研究センター収蔵遺物概要	44
附表 1	1982年度以前の構内主要調査（1980～1982年度）	46
附表 2	1986年度以前の構内主要調査（1983～1986年度）	46
附表 2—(1)	発掘調査	46
附表 2—(2)	試掘調査	47
附表 2—(3)	立会調査	48
附表 3	埋蔵文化財調査室刊行物	49
附表 4	埋蔵文化財調査研究センター刊行物	49

図 版 目 次

- 図版 1 津島地区全体図
- 図版 2 津島北地区
- 図版 3 津島南地区
- 図版 4 鹿田地区全体図
- 図版 5 津島地区（学生部男子学生寮発掘調査）
 - 1 7層上面遺構検出状況（西から）
 - 2 8層上面遺構検出状況（西から）
- 図版 6 津島地区（学生部男子学生寮発掘調査）
 - 1 11層上面遺構検出状況（西から）
 - 2 貯蔵穴 1（南から）
- 図版 7 鹿田地区（医学部附属病院管理棟発掘調査）
 - 1 南区中世遺構完掘状況（南から）
 - 2 土壙墓 1（北から）
- 図版 8 津島地区（教養部身体障害者用エレベーター設置試掘調査）
 - 1 縄文時代遺構完掘状況（東から）
 - 2 土壙01完掘状況（西から）
 - 3 土壙01断面（西から）
- 図版 9 出土遺物
 - 1 学生部男子学生寮予定地
 - 2 医学部附属病院管理棟予定地
 - 3 医療技術短期大学部配管工事部分
- 図版10 センター施設
 - 1 センター事務所（津島地区）
 - 2 収蔵施設（鹿田地区）